

大分市総合計画検討委員会 第5回 総務部会 議事録

◆ 日 時 平成27年11月24日(木) 15:00～17:00

◆ 場 所 コンパルホール 6階 601会議室

◆ 出席者

【委員】

村嶋 幸代 部会長、有松 一郎 副部会長、荒金 一義 委員、池邊 泰治 委員、川野 恭輔 委員、長谷尾 雅通 委員、藤田 敬治 委員(計7名)

【事務局】

企画課 参事補 安達 浩、同参事補 金子 明弘、同主任 恵藤 淳矢

【プロジェクトチーム】

人事課 主査 河越 隆、財政課 参事 衛藤 興憲、税制課 主事 中原 美夏、議会総務課 主事 藤嶋 慎二

【傍聴者】

なし

◆ 次 第

1. 開 会

2. 議 事

(1) 中間提言について

(2) 大分市総合計画(素案)の基本構想について

第6 めざすまちの姿(都市像)～未来へのキーワードについて～

(3) その他

<第5回 総務部会>

事務局	<p>本日はお忙しいところご出席いただきましてありがとうございます。 では、ただ今から 大分市総合計画検討委員会 第5回総務部会を開催いたします。</p> <p>それではまず、資料の確認をさせていただきます。 (資料の確認)</p> <p>それでは、「2. 議事」に入らせていただきますが、議事の進行につきま</p>
-----	--

	<p>しては、検討委員会設置要綱第7条第4項により、部会長が行うこととなっておりますので、よろしくお願いいたします。</p>
<p>部会長</p>	<p>それでは、次第に従いまして議事の進行を務めさせていただきます。 まず、議事（1）の「中間提言」について事務局に説明を求めます。</p>
<p>事務局</p>	<p>中間提言について、ご説明いたします。まず、お手元の「大分市総合計画検討委員会業務の流れ」と書かれた資料をご覧ください。</p> <p>8月の検討委員会の設置以降、委員の皆さまにおかれましては、この総務部会をはじめ7つの部会に分かれて総合計画の「素案」について議論をいただいているところでございます。全ての部会でおおむね今月中にその検討を終える予定であり、これまでいただいた多くの意見を部会ごとに「中間提言」として12月にまとめていただきたいと考えております。そのいただいた「中間提言」をもとに8月に提示した「素案」に事務局で修正を加え、「原案」を作成したいと考えております。</p> <p>別途お手元にお配りしております「大分市総合計画検討委員会第5回総務部会『中間提言（案）』」をご覧ください。「本部会での検討範囲」に記載しておりますとおり、総務部会では、総合計画の「基本構想」及び「基本計画（総論）」、さらには人口ビジョンや総合戦略の全体的な構成について議論いただきました。そこでいただきました様々な意見を、以降の「主な意見」として取りまとめております。</p> <p>まず（1）の計画策定の全般的なことにつきましては、1点目として、「市民にとって実感を伴ったものとなるよう分かりやすい表現に努めるとともに、市民ニーズを的確に把握する必要がある旨」記載しております。</p> <p>2点目として、「少子高齢化、過疎化の影響により、佐賀関や野津原、大南地区などでは地域コミュニティの維持が難しくなっており、各地域の実情を踏まえた対策を速やかに講じる必要がある旨」記載しております。</p> <p>次に（2）のめざすまちの姿（都市像）につきましては、本日の議事でありますので、その議事を踏まえ追記することとしております。</p> <p>続きまして、2ページ目の（3）各政策の推進につきましては、1点目として、「『市民主体のまちづくり』の推進のために各地域への行政の積極的なリーダーシップを発揮した関わりが求められるとともに、市民に一番身近な支所・出張所機能の拡充などを求める旨」記載しております。</p> <p>2点目として、「少子化の進行や人口減少社会への対応として、結婚・出産・子育てに『温かい社会』の実現、安心・安全な『住みやすい社会』の実現が求められており、それに向けての具体的な施策を推進することが必要である」としております。</p> <p>3点目として、「文化芸術を地域振興や産業など幅広く活用する創造都市としての取組が求められていること」を記載しております。</p> <p>4点目として、「社会経済情勢のグローバル化が進む中、外国語表記の充実など外国人観光客にとっての利便性の向上に取り組むなど、インバウンド観光を一層促進する必要がある旨」記載しております。</p> <p>5点目として、「東九州自動車道の開通や国道九四フェリーの利用者数増</p>

加を踏まえ、大分市は四国・関西地方と九州各都市とを結ぶ交通結節点としての役割が高まってきており、その利点を活かしたまちづくりを進めていく必要がある」としております。

続いて、3ページをお開きください。(4)人口ビジョンの策定についてです。「大分市がめざす人口の将来展望として、合計特殊出生率を2040年には2.3にまで引き上げることとしているが、その目標設定は非常に厳しいものであるとの認識を持ち、それに向けての思い切った取組が求められること」と記載しております。

(5)総合戦略の策定につきましては、1点目として、「基本目標に据える4つのタイトルについて、より人口増加がイメージされるようなタイトルを設定する必要がある」としております。

2点目として、「『結婚から子育てまでの切れ目ない支援』を図る指標(KPI)として、育児休暇の取得状況など、より市民にとって分かりやすい指標を設定する必要がある旨」記載しております。

3点目として、「人口維持のためには、若者の定住を促進する必要がある、そのため雇用の創出などの産業振興を戦略的に進めていく必要がある」としております。

4点目として、「同じく若者の定着を図るためには、まちの魅力を若者と一緒になって創りあげていく必要がある旨」記載しております。

5点目として、「人口増への取組として、大分市の場合は社会増よりも自然増に向けて取り組む必要がある、そのためには子育てや介護と自己実現との両立が可能な環境を整える必要がある」としております。

以上が、これまでこの総務部会の委員の皆さまからいただいた意見をもとに、中間提言として取りまとめたものでございます。

部会長

ありがとうございました。

これが総務部会の中間提言案で、他の部会の中間提言はいつ決定する予定なのでしょう。

事務局

今日も各部会で議論を進めている最中ですので、中身の詳細が確定したものにつきましては、12月2日に決まる予定でございます。

部会長

前回事務局へお願いしておりました「各部会のキーワードについての意見」に係る資料は、この中間提言案の横長の資料ですよね。これをさらにこのポンチ絵にまとめられたのは、この総務部会の事務局ですか。

事務局

そうです。中間提言案の中の「主な意見」(2)の都市像についてのご意見に反映をさせるために、このあと別にご議論いただく中でご説明をしようと思っております。今お示したのは、それを除く部分について、これまでの部会での意見を少しご確認いただいて、抜けているものがないとか、表現としておかしい点がないかを確認いただいてまとめていこうかと思っております。

それで一応中間提言そのものは、市民福祉や教育など各部会で章立てをし

	<p>て、一冊にするというような形にしますので、まだ総務部会同様、議論が継続中という状況になっております。</p>
<p>部会長</p>	<p>今の発表に対して、何かご質問、ご意見等はいかがでしょうか。特にご意見が無いようでしたら、次の議題に移りたいと思います。</p> <p>次に、議事（２）の「基本構想 第６ めざすまちの姿（都市像）」について、事務局に説明を求めます。</p>
<p>事務局</p>	<p>それでは、（２）大分市総合計画（素案）の基本構想第６「めざすまちの姿（都市像）」について説明させていただきます。</p> <p>まず、今日お手元にお配りしました資料の「各部会における基本的な政策の方向性についての意見」をご覧ください。</p> <p>こちらの資料につきましては、前回基本的な政策のタイトルのところや全体の方向性についての他部会の意見について確認をしたいということ意見をいただいております、それを集約させていただきました。ただ、先程から申し上げておりますとおり、現在も他部会で調整中ということで、この各部会の意見の欄につきましては、今後若干の変更があり得ます。資料の上の方に※印で書いていますとおり、各部会のキャッチフレーズや方向性につきましては、素案の基本構想の８ページ、９ページにダイジェスト版で記入をしておりましたが、そのままを表記しております。そして部会意見の欄につきましては、中間提言の内容を記載しております。</p> <p>まず第１部の市民福祉部会につきましては、部会意見として、市民福祉のさらなる向上をめざし、市が他の団体との連携を強化することが必要。また２行目にありますとおり、市民一人ひとりが生涯を通じて健やかでいきいきと暮らせる社会の実現が必要であると書かれております。</p> <p>第２部の教育・文化部会につきましては、２点ほど取りまとめておりました、人口減少などの変化の激しい社会を生きる力をはぐくむ教育。そして２行目には、生涯にわたって学び続けることができる社会づくりが必要とまとめております。２点目につきましては、まちのにぎわいづくりやまちづくりの活性化のために、文化・芸術、スポーツをいかしたまちづくりが求められていることとしております。</p> <p>次に２ページをお開きください。防災安全部会では、部会意見として３点ほどまとめておりました、１点目につきましては、１行目の後半部分に書いてありますが、防災・減災に関する様々な取組というのはこれまでも重点的に行われており、３行目の後半では、今後も粘り強くこれを進めていく必要があるということ。２点目につきましては、地域の機能が低下することが予想されていることから、防災の観点からも今後も地域の機能を維持、向上させていくことが重要であること。それから３点目につきましては、２行目にも書いておりますとおり、地域の先進事例の普及や多様な主体との連携により効果的な施策展開が必要であることといったような内容をまとめております。</p> <p>それから第４部の産業部会につきましては、２点ほどございまして、まず１点目につきましては、地域の経済の活性化においては、特に農林水産業で</p>

の担い手の確保と育成が必要であるということ。それから後段部分では、市民生活を支える地域商業の振興をはかるべきであるということ。そして2点目につきましては、産品を積極的にPRすることで、地産地消や域外からの消費をはかっていく必要があるのではないかとまとめられております。

次に3ページをお開きください。第5部の都市基盤部会につきましては、部会意見といたしまして、将来にわたり持続可能な魅力あるまちづくりが必要である。そのためには、来街者の利用環境のバリアフリー化やまちの機能のコンパクト化などをはかることによって、時代の要請に対応する整備が必要であるとしております。

最後に第6部の環境部会につきましては、2点ほどまとめておりました、1点目は中ほどにございます費用対効果をかんがみながら、戦略的に環境の保全・改善に向けた対策を講じていく。そして次の行には豊かな自然や快適な生活環境を維持・向上し、次代に引き継いでいくことが我々に課された重要な責務であるとまとめております。2点目につきましては、これまで他の部会でもありましたように、市民、事業者、行政が相互に協力するなど、連携を強化してこれまで以上に大きな成果を生み出すことが望ましいとの意見の集約がなされているところでございます。

以上が、各部会の「全体について」という形で中間提言にまとめようとしている意見でございますので、参考にいただければと思います。

次の資料ですが、A4横の「各部会でのキーワードの抜粋」と書かれた資料をご覧ください。これは、前回での部会でもお配りした資料にもありましたが、各部会の委員さんからいただきました代表的なご意見の中から、「子ども」「地域」「魅力」というワードで結びつけてみたものです。

「子ども」「地域」のワードの結びつきにもあります「子どもが育てば、地域が育つ」や「地域で子どもを支え、育てる」、また、「子どもが育ち、地域が育てば、魅力へとつながる」といった結びつきに関する考え方についても、委員さんの考え方を参考に示しているものです。

「子ども」、「地域」、「魅力」それぞれのワードにつながる必要な取組については、各部会で出された意見を大きな枠組みで記載しているとおりであり、計画の内容に反映していくこととしております。

左側の「子ども」につきましては、「教育」「親育ち」「ワーク・ライフ・バランス」の項目を出しております。キーワード的には「親子で安心できる環境」や「子どもの未来の創造」というようなイメージを持っております。

右側の「地域」に関しましては、「自主性」「機能維持、向上」「若い世代の参画」の項目で整理しております。キーワード的には「地域のちから」というようなイメージを抱いております。

中央下になりますが、「魅力」に関しましては、「魅力の創出」「魅力発信」の項目で整理しております。キーワード的には「大分市のイメージアップ」というようなことを思い浮かべております。

その他、関連付けはできておりませんが、右側下の方に、代表的なキーワードを列記しておりますが、こちらに整理できていないものとして、この総務部会で村嶋部会長からご意見としていただいております、子育て世代の女性や若い人が、家庭や仕事と両立しながら自分の夢や希望を実現できるよ

うなまちづくりが必要ではないかということがございました。そういうことも踏まえ、キーワードとして「人が輝くまち」というイメージも湧くように思います。先ほどご覧いただいた資料の「市民福祉部会」のタイトルにもあります「いきいきと暮らせる」や「教育・文化部会」の方向性にあります「誰もが自分らしさを発揮」にもつながっていくようなキーワードになり得るものと考えます。

この3つのワードに関して共通する言葉として「連携」という言葉があります。これからは自治体が独自の特性を活かしながらまちづくりを行っていくうえで、多様な主体と連携する中で効果的な行政運営が求められていることもあり、各部会の委員さんの方からもご意見をいただいているところでございます。

今回、委員の皆様からいただきたいご意見としては、ここで例示したワードに関連したお考えを、この結びつきにとらわれずにおっしゃっていただいたり、ここに出てきていないワードについて、大分市の未来を見据えたときに大切だというような事柄など、皆さんのお考えを自由にいただければと思っています。

最終的には、委員の皆さんの意見を参考に、計画の中身と整合性を図りながらこちらでキーワードをまとめていきたいというふうに考えております。

また、先程部会長がおっしゃられていましたけれども、今日の部会が皆様にお集まりいただく最後の部会になる予定ですので、将来の大分市について忌憚のない意見をいただければと思います。

説明は以上でございます。

部会長

ありがとうございました。ご意見をいただければ、それを参考にして事務局でつくってくださると承りました。

これはどちらで集約されたものですか。

事務局

事務局で集約させていただきました。

部会長

まず、多分これは農林水産業の部会から出たと思うのですが、「魅力」の3つ目は「農林水産業」だけでなく農林水産鉱工業と、鉱工業を加える必要があるのかなと思います。

あとは表現が難しいなと思いますが、「子どもが育てば地域が育つ」、「何々すれば何」というのは良いのですが、「子どもがあまりいない地域は地域が育たないのか」と言われかねないので、あまり全面に出さない方が良いでしょう。むしろ、「子どもが育ち地域が育つ」の方が良いのではないのでしょうか。子どもが育つことはとても大事なのですが、それと地域が育つことをダイレクトに結びつくような表現はやめた方が良いでしょう。私が最初に聞いた時にそう思いました。

座長が先に発言してしまいましたが、皆様どうぞ。

委員

前回の部会から考えていたのですが、ここは、首長さんなどが10年後を見据えて標榜する言葉じゃないですか。この間と違う意見を出して申し訳な

	<p>いのですが、こういうところでアイデアを募ること自体が違うのではないかなと思います。キーワードを出せと言われてたら先ほどの資料みたいな話になって、月並みのものしか出てきません。多分、将来をどう見据えていくかというのはリーダーである首長さんの考えが出てくるのだろうかなと思います。それをこういう部会の中で何でもいいから出してと言われてれば出しますが、なんかそういう性格のものかなと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>前回の会議の後に、ちょっと事務局に同じようなことを相談したのですが、まあそういう形なのかなと自分では理解していました。例えば、産業振興をしたいというような市長のお考えの色や特徴を構想に入れるのが難しい部分もあるのではないのでしょうか。少しそこを思う部分があるのですが、前回もそういうやり方でやられていたとお聞きしましたので。</p>
<p>事務局</p>	<p>今回の総合計画は今後9年間の大分市の行政運営の指針になってくるといって作成していくのですが、当然、市のスタンスを組み込みながらこういう施策が必要であると判断し書き込むということもあります。しかも一方では、まちづくり自治基本条例の中にもあるように、市民のご意見、市民の参画を踏まえた上で内容を作りこむ必要がある。今回はキーワードというところでご説明差し上げたのですが、具体的にそのキーワードを何にするかということはこちらで絞り込みながら考えていきたいと思うのですが、例えば将来の大分市を考えたときにこういう姿が良いとか、こういうことが必要なんじゃないかというご意見を皆様思い思いに持っているお考えを出していただければ、それを私どもも参考にしながらぜひ考えていきたいなと考えているところです。</p>
<p>委員</p>	<p>今日がとりあえず全体の最終を目指すということを前提として、「もっともな意見が今出たな」という感じは十分するわけですが、実際ここまでいろいろと議論してきたのは事実ですし、今日出た意見を吸い上げていただいてそれを首長さんも含めてもう一度検討していただくのかなと。</p> <p>少し話は変わりますが、先ほど事務局から、あくまでもこのサイクルという形が一例で、それに各部会から出たキーワードをぶら下げておりますということで、各部会でのキーワードの抜粋の資料を提示いただきました。視覚的に見たのでそう思うのかもしれませんが、「子ども」と「地域」しかないようなイメージにどうしてもなってしまうと、どう考えても今後の人口構成比を見ていったときに、それを教育していくとか、いろんなことを教える高齢の方が多いわけで、そこら辺に対するケアが個別のワードには含まれているのですが、視覚的に考えるとぶら下げ方がどうなのかなと思いました。</p>
<p>委員</p>	<p>前回の時に宿題という形で捉えて、朝、昼、晩と考えてみるのですがなかなか難しいなと思います。というのも、我々から出た意見がそのまますんなり決定するわけではないのですよね。やはり市長さんの意見や方針とバッティングしたところでキーワード的なものが出ると思うのです。それで、前回</p>

	<p>私は行政側から何か提示してもらえないか、それについて私がこれじゃ文言がおかしいという形で指摘するような進め方ができたら素晴らしいものができるのではないかと思います。期間が10年と長期的スパンになりますので、そうするとやはり皆さんが今考えている大分市のビジョン、また市長さんのお考えにもあるように、四国との豊予海峡ルートへの展望など踏まえたところのキーワードをつくってみたらいかがかなと思います。言うのはたやすいのですが、自分ではなかなか難しいです。また地域に帰ってゴロのいいキーワードや文言があれば聞いてみようと思います。</p>
委員	<p>本日の資料を見ますと、他の部会でテーマが決まったようですね。これは各部会でそれぞれ議論をしたのですか。</p>
事務局	<p>各部会の意見については、その部の中間提言（案）の中の全体的な方針について議論をいただく中で出た意見です。</p>
委員	<p>その時に、この総務部会で議論する都市像の話は全く出ていないのでしょうか。</p>
事務局	<p>そうですね。各部会で話す中で、部会の枠を超えた大きな意見というのも出ておまして、それを参考にして作ってみたのがこちらの抜粋の資料ではあるのですが。</p>
委員	<p>となると、この部会である程度方針的なところまで出していかなければいけないということになるわけですね。</p> <p>今思ってもしょうがないけど、本来ならばキャッチフレーズはこの部会の決めごとかもしれないが、都市像とかはここだけの話じゃなくて、全体で各部会から意見をもらっておけばよかったかなと思います。しかし全くそこが出てきていないということ自体もおかしな話だなと思います。ここで皆さん知恵を出して言葉を決めてくださいと言われても、正直なところ、出し切れないうい、出ないのではないかなと思います。となると、先ほど他の委員さんから意見があったとおり、首長さんなり事務局が出した10くらいの中から良い悪いを決めるのであれば十分議論はできます。出したはいいが、後は部会は開きません。これで決まりましたのでよろしく願いしますでは、なかなか意見が出せないでしょう。</p>
委員	<p>だから、1週間なり、2週間なり時間があつたのですがね。</p>
委員	<p>考えたけど、なかなか出てこないですよ。後は皆様方がつくって、市長と相談して、「こういう風に決まりました」としかしようがないんじゃないですか。ただ、キーワードの抜粋の部分だけでは弱そうな感じがします。</p>
委員	<p>各部会の意見、それからキーワードの抜粋の資料を説明していただいて、基本的には皆さんと同じなのですが、致命的だなと思うのが、ワクワクする</p>

ところがない。どこに我々はときめいたらいいんだ。「このまちの将来が素晴らしいものになるな」というときめきみたいなものがないと、子どもたちにとってもご年配の方にとっても、我々のような子育て世代にとっても、今日より明日が良くなるという気がしてこないのです。多分、そこが9年というスパンの中でとても大事なんじゃないかと。ですから、ちょっとあらましても、皆さんの気概を込めた夢のある言葉をぜひ飾っていただけたらなという思いがしております。当然そこには今後いろんな大変なことも出てくると思いますが、そこは我々が応援していく部分だろうなと考えておりますので、ぜひそういう言葉を考えて頂けたらなと思います。

それと、キーワードの抜粋を見ていくと、いろいろとやるべきことは書いてあるのですが、「誰がやるんだ」というのと「どこでやるんだ」ということがよくわからない話がいっぱいあって、私が今ちょうど子育て世代ですから、保護者のための研修、学習会の提供という、今も教育委員会はもとより、各学校単位のPTAなどがやっています。しかしそれとは別にさらに大分市が提供するような記載がある。むしろ今やっているところに少しつけていくことで内容がより良くなっていくというようなこともあるのではなからうか。それは、子育てと仕事の両立でもそうでしょうし、観光についても既存で取り組んでいるところをもっと応援していく。新たに行政として何かするということではないような感覚がもう少しないと、ネットワークや連携と書いている割にその辺が見えてこないのです。「自分達でやっていくのかな」とか、「かえって動員が増えてしまうのかな」ということも考えてしまうので、その辺はぜひ市長とのセッションの時に部会としての思いが伝わればなと思います。前回の議論でも、「どこが行政の仕事で、どこが市民の役割で」というようなあいまいになった部分がたくさんあったと思うのですが、そのあたりを今一度整理していただきたいと思います。それを踏まえ、再度夢のあるものをつくっていただけたらなと思います。いずれにしても、もう概ね固まりつつあるのですが、各部会の大きな項目も含めてぜひその1つ1つにきらきらしたというか、あまり浮ついてもいけないのですが、大分の将来っていいよねと思えるような、誰に聞いても、「ふうん、そうか、そうだよね」で終わらないようなものを盛り込んでほしいということをお願いいたします。

事務局

先ほど申しあげましたように、もし今こちらの部会で具体的なキーワードが出たとして、それがすっぽり入るかということ、内容との整合性などもありますのですんなり入るかどうかはわかりません。具体的なキーワードが出た場合は、当然考え方を参考にさせて頂くということは1つあります。今委員さんからいただきましたように、こういう言葉をこういう考えに基づいて入れてほしい、きらきらしたような言葉とか、「今日より明日が良くなる夢が広がる言葉を入れるべきだ」というような思いを皆様方からいただければ、こちらもそれを踏まえながら考えたいと思っています。先ほどの「豊予海峡などの大分市の大きなビジョンを入れ込むべきだ」という考え方もありだと思っています。具体的な言葉は思い浮かばずともこういう言葉がいいんじゃないかというようなお考えでもこちらとしては参考にさせて頂きたいと

	<p>思っておりますので、よろしく申し上げます。</p>
部会長	<p>やはりまずは事務局が先に原案をおつくりになるべきではないかと思えます。少なくともたたき台は出してくださいと言ったのですが、たたき台もでてないのですよね。</p>
事務局	<p>そうですね。いろいろ考えたうえで、お手元の資料のような形にまとめては見たのですが。ただ、言葉、キーワード、考え方がたくさんあるわけですから、あくまでもこれが1つの事例としてつなげてみたということです。1つの事例なので、これに関連する言葉や考え方をいただくか、これだけでは不十分なので、これにない言葉等がもしあればいただければということをお願いしたいと思えます。</p>
部会長	<p>ということだそうですので、これを原案として、都市像として議論をしてください。</p>
委員	<p>私が気になっているのが、県の長期計画の素案をもっているのですが、県は市と違い「都市像」みたいな言葉がない。そうすると、基本目標として皆さん良くご存じの「安心、活力、発展の大分県」というのが今度4期目ですが、ずっと変わっていないのです。ずっとこれでいっていて、これに地方創生の視点が入って、良くお聞きになるように「子育て満足度日本一」とかいうのは各政策の中の標語として出てきます。したがって、5、7、5みたいな1句の中にすべての要素をおさめるのは多分不可能なのです。だから県ではやっていない。大分市も50万人近い中核市の位置づけの中で、今部会長の話を聞いていて思ったのですが、こういっためざすまちの姿のようなものが引き続き必要なのかどうかも含めて、たった20文字足らずのところ本当に標榜できるのかなという気はします。今我々は過去の流れを引き継いでいっているのではないかなと思うので、事務局としてこういった言い方が引き続き必要なのかというか、あるいはまた全然違うやり方もあるよという議論はやっておいた方が良さそうな気はします。非常に難しいと思えます。</p>
委員	<p>「都市像」が決定するのはいつですか。</p>
事務局	<p>パブリックコメントでも市民意見があがってくるので、私どもとしてはその意見も踏まえたいと考えております。それまでにキーワードは出していこうと思うのですが。</p>
委員	<p>パブリックコメントでも都市像は出さないの。普通はそれも含めて出して意見をもらうのではないの。</p>
事務局	<p>パブコメの時に1つのタイトルを大々的に出して、それについて意見をもらうとした場合、またそこから方向転換というのが難しくなります。</p>

委員	そしたら、パブコメも通過して最終的には市民意見も含めて検討するということになるのですか。
事務局	そうですね。
委員	ちょっと質問していいですか。現行計画では「未来へのキーワード」、そして最後に「めざすまちの姿」という文言のコーナーがあるんですが、この「未来へのキーワード」と、今日この1枚の抜粋である違いはなんですか。これはここに書いてあります、これはここに書いてありますというのを見ても浮き上がってくるものがわからないのですが。
事務局	今日お示ししたものは、ベースは各部会の委員さんからいただいたワードをまとめてくっつけて結び付けてという組み立てで整理をしています。
委員	前回と同じだという理解でいいのですか。
事務局	項目的にはそうですね。ただ、中身としては若干異なります。たとえば、「地域を誇る気持ち」というのが現行計画にはあるのですが、この現行計画上では「歴史、伝統、文化という観点から地域を誇る気持ち」と書いてあるのですが、今回総務部会も含めて各部会とも、地域となるとどちらかというところ「地域コミュニティの活性化」という観点が非常に多くございました。ですので、同じ「地域」というワードが来たのですが、中身的には例えば過疎地域やそういう地域コミュニティが衰退している部分を盛り上げていこうというところからの視点になろうかなというイメージは持っています。
部会長	例えば都市像っぽくすると、「地域」については「多様な地域特性に応じた適切な対応」などというのが多分地域の行政としての都市像になるんですかね。
事務局	そうですね。「多様性を活かした地域づくり」とか、そのような表現になっていくのかなと思います。
委員	各部会との整合性は。
部会長	各部会のものが今ここにきているので、これを基に私たちがブラッシュアップすれば別に整合性は問題ないと思います。
部会長	今出てきた意見としては、高齢者や福祉のことがない。それから地域のところで、どんな人でも暮らしやすい地域みたいなものが必要なのでしょうね。
委員	最初に頂いた基本構想の基本的な政策に6つの政策があって、これは都市像を実現するための6つの政策ですので、これらを逆計算していったら都市

	<p>像になる、という、キーワードはもう出ているのかなという気が個人的にはします。これをあとは言葉のつなぎ合わせになるのか、置き替えなのか。言葉だけで言えば、それをワクワク、キラキラした表現にという、さらに中身の問題になると思いますし、それは時間的制約もありますでしょうが各取組にどんどん反映していただくというように思っております。市長の絶対たる背骨の方針がここにあるのであれば、そこになるのでしょうか、それが実はこの6つなんですよという話なのか、それはちょっと別にあるのか、そういうことが関係してくるのかなと思います。</p>
事務局	<p>都市像そのものはこちらの委員さんの総意でつくりましたというわけはありません。先ほどから申し上げますように、ご意見をいただきながら市の方で市民意見の反映という形で言葉を組み立てていきたいという風には思っています。最後は確かに市長等に相談して決めていくのですが、行政だけの考えではなく、そこは市民の意見を吸い上げながら組み立てていきたいということが根本にあります。</p>
委員	<p>それからいくと、結局先程他の委員さんがお話しされていたように、部会のキャッチフレーズがあるので、要はその中で参考になれば、自分は「健やかでいいよ」、「いきいきでいいよ」という言葉的なものをそれぞれ6部会あるのだから、そこからそれぞれ出していただいて、それを事務局でまとめていただくというやり方しかないのではないかな。やっぱりそれをベースにしないとおかしいと思うので、部会からの意見を集約してやっているのであれば、内容的なものはこのキーワードの資料で十分だと思うのだけど、これからはキーワードは出てこない。キーワードになると各6部会の中にある言葉的なものを集めて、それで「大分のまちはこういう都市像がいいですよ」ということで作っていくしかないのではないかな。それかいつそのこと、例えば市長が打ち出しているキャッチフレーズなどをそのまま都市像に出すかとか、その方法しかないような気がしますどうですか。もしこの部会から出すのであれば、皆様方からこの中で自分はこういう風なものがいいですよというような意見を出してもらって集約したらどうかと思います。</p>
委員	<p>市民とともに進めていくという考えに立つと、公募するのがベターなんじゃないのかなと思います。けど時間的に余裕がなければ、ここで何か文言にして、また事務局から持っているものを提案してもらって、それを各部会にかけて修正をやるしかないのではないかなと思うけど、その時間的な余裕はないのでしょ。</p>
事務局	<p>キーワードについては12月中、年内には作って、ここの都市像の5、7、5の部分についてはまだ先々になるので、そこについては皆さんから意見を伺う機会もあることはあると思います。</p>
部会長	<p>では今日は考えを出せばいいということなので、今まで出された原案に対するキーワードの資料と、各部会の意見を踏まえてご意見をいただければと</p>

<p>委員</p>	<p>思います。そうしたらその中から事務局のほうで言葉を選んで都市像を作っていくということですね。</p> <p>今日抜粋ということでもいただいたのですが、自分なりに2週間考えました。動詞で申し訳ないのですが、「連携」という言葉が出ているのですが、「結ぶ」とか「つなぐ」とか、その意味というのは何回も会議で議論されていきましたけれど、地域コミュニティが希薄になっているというような、そういったまちづくりの面もありますし、産業でいくと6次産業とかも1つありますし、特に大分は製造業、工業県ですけども、進出企業と地場企業とのリンクがなかなかできてなくて、そこは大きな大分市の1つ課題ではないかと思っていますので、それをいかに結んでつないでいくか。それと、私も意見に出させていただきましてし、こちらにも書いていますけども、交通結節点という部分も今後、物流であったり交通であったりを結ぶ、つなぐというのが、今後の大分市の将来を考えていくうえでは、必要かなと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>私の所属組織上、ぜひともキーワードには「創造」を使っていたきたいというのを繰り返しになりますようお願いしたいと思います。今回作りこむ中で、現状の計画で落第点を取ったものは何もないと思います。全部が80点以上取っている項目ばかりなのだろうと。それをさらに未来に向かってつないでいきたいという中での策定であるならば、おそらくその20点を増すのは、現状にさらに磨きをかけるというよりは、むしろ次の一手みたいなものが求められているのではないかと思っています。ですから、「ひと」、「もの」、「まち」、そういったものを、これまでの従来型のやり方とは違う視点、新しい取組というのが求められるのであれば、ぜひそういった意味からも、「創造都市」の「クリエイティブシティ」の創造だけではなく、つくり上げる、それから子どもたちにも夢を持ってもらいたい、あるいは子どもだけではないのですが、大人やご年配の方にも夢を持っていただきたい。そういう時に、「創造」という言葉の中にはそんなものも含まれてくるのかなというように気がしておりますので、もしよければ、そんな言葉もどこかに入れてほしいと、ぜひお願いします。</p>
<p>部会長</p>	<p>他にいかがでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>先ほどから各部会の中間提言(案)を見させていただいている中で、第4部の産業部会の部会意見の冒頭にもございます「地域の特性を生かした経済の活性化」というのは、これがそのまま入らずとも、大分市長の主張もございますし、「経済」というのは、これまで出てきたキーワードである「子ども」や「地域」など、何をしても受け皿であるし、そこに対するエネルギーを、地元経済の活性化が下地にあってこそそのような気がします。そこに対する言葉は入れられるのなら入れていただきたいなと思います。</p> <p>また、「子ども」、「地域」と考えてみたときに、「子どもを育てる」とか、部会長もおっしゃった「育てば」とかですね、やはり「育つ」という自立性を持ったような、オリジナリティ、独創性を持ったような、さらには先ほど</p>

<p>部会長</p>	<p>出たような「連携」が進む中で、それぞれがちゃんと自分を持つというか、自分で「育つ」という自立性を持たせたような言葉のほうが、みんな自分たちが住んでいる地域なので、自分たちで責任を持って、しっかりと自分たちで盛り上げていこうというところの中での横の連携を取っていくというような、少し強めのものが入ってもいいのかなと個人的には思っています。</p> <p>そうするとこの自主性、「地域」のところの1つ目は、「自ら考え自ら対応する意識の醸成」ということになるのですね。私は、「子どもを育てる」と「子どもが育つ」は主語がだいぶ違うのですが、「行政は、市民がそれぞれ責任を持つんだ」という言い方と、「行政が最低限のインフラに関しては責任を持つ」ということの両方が必要ではないかと思うのです。「子どもが育つ」という言い方をしたときに、行政責任はどうやってとるのかというのが課題になるなというふうに思います。先ほどどう実現していくかという引き算をしていくというご意見がありましたけど、「どう実現していくのか」という大分市の姿勢というか、行政の姿勢が本当はもうちょっと問われてもいいのだろうなという気がします。</p> <p>だから、市民が育つということはとても大事なのですが、どうやって育てるのかとか、どうやって育つような土壌を作るのかとか、そういった責任はやっぱり免れないと思いますので、そこはぜひ考えていただきたいなと。どこかに盛り込むというか、少なくともスタンスとしては「行政の責任もありますよ」というところを自覚していただきたいなと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>今、部会長がおっしゃったグランド整備をしっかりとしていただくということは必要だと思いますが、さらに、言葉は幼稚にというか、言い方を変えてわかりやすく言えば、「みんなで育つ」とか、これはつながりがおかしいのですが、それこそよりわかりやすい、あまり難しくない言葉のほうが当然スッと入ってきますし、親しみもわきます。</p>
<p>部会長</p>	<p>「みんなで育つ」プラス「グランド整備」をということですね。ありがとうございます。他にいかがでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>これから大分市だけの問題というだけでなく、周辺の市町村との連携を大分市が中心となってやっていこうとしているわけですが、都市間競争も今ものすごく厳しいし、残っていないことには大分市も衰退していくわけなので、そういう面での県都大分市として、あるいは中核都市としての重さも持ちながら、また、安心して暮らせるという実感を持てるような、そういう大分市を目指していくべきではないかと思っております。他の市町村と競争はしながらも、連携もするという部分がまず大事じゃないかなと思っておりますし、先ほど連携のお話があったように、まさに私はそう思うのです。今までは地域の連携とか言っていたけど、行政の中でも連携が必要なのです。さらに言うと福祉にしてもそうです。今までは「介護だけしっかりやりました」というので良かったですけど、それではどうしようもなくなって、地域も巻き込んで、あるいは医師会や業界も巻き込んで、すべてを巻き込んでや</p>

<p>委員</p>	<p>っていかないと、これからの福祉社会も成り立っていかないと時代になつていきますので、もうちょっと大きな面での連携というのも大事だという感じもします。そうすると、言葉で言えば「連携」という形になるのでしょうか、そういうものを打ち出していくことが大事じゃないかなと思っております。</p> <p>なかなか難しいのではないかなと思います。ただ、単純にキーワードと言われれば、他の委員さんが言われていた、「結節」と思いますね。大分は、東九州自動車道も開通し、高速道路では今T字型なので、これを十字型にもっていくには海を渡らないとダメなのです。そうすると、今、豊予海峡について調査しようとしているし、フェリーが身近にあります。フェリーで言いますと八幡浜、臼杵航路は横ばいですが、佐賀関、三崎航路は1時間に1本という利便性もあり、伸びています。そのため十字の中心に大分市があるのだろうなと思っております、そういった意味の大きな標語があるといいなと、今日あえて言わせていただきます。</p> <p>あとは、さっき申し上げたようにいろんな行政分野があるので、それを1個1個拾って5、7、5を作るのはたぶん不可能でしょうから、そこは私は事務局の手腕だと思っておりますので、頑張ってください。</p>
<p>部会長</p>	<p>「結節点」というキーワードが出てくれば、これまでに比べてとても新しいですね。「発展」につながるような、そういうものですね。前のは「みんなが参加」、「健やかに育つ子ども」、「地域に誇りを持つ」、「魅力発信」でそういうのはないですね。「結節点」であるとか、何か「九州の要になり得る」というような、そういう言葉があるとすごく新しいでしょうね。本当は「大分市の責任」、大分県の中で県都ですから、周りの市町村が衰退していく中で、やっぱり大分市に人口が流入していくわけで、そういうところの「責任」みたいなものが新たに求められているのでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>先ほどの委員さんがおっしゃった十字の部分については、同様のことを市長も言っていたと思う。そういう意味では十字の真ん中の部分だということを出せば、非常に面白いと思う。</p>
<p>委員</p>	<p>今、市の企画課と話をしているのが、大分市と由布市と臼杵市と津久見市、この4つの市が縦軸、横軸そろったのだけれど、もうちょっと味付けがいりますよねというときに、フェリーを介して愛媛県と交流をしようかとうちが音頭とっているのです。どちらかというともっと大事にして、結局は第二国土軸につながるのだけれども、愛媛県の振興局と地域間交流をそういった形で進めていきませんかかと相談しているところです。</p>
<p>部会長</p>	<p>すばらしいです。</p>
<p>委員</p>	<p>市長が最近話しているのが、四国だけではなく大阪、東京のラインも将来的にはなりますよという部分のところではないかと思う。この前宮崎に行っ</p>

	<p>たら、宮崎の方もそのラインをものすごく希望しているわけですね。宮崎が一番希望していると思うのです。新幹線は新幹線で、宮崎が期待しているところでもあるわけで、その真ん中にあるのが大分市なのだという認識は大事なんじゃないかと思います。</p>
委員	<p>今、山陽の瀬戸内海にかかっている橋を使って四国に渡って愛媛県をずっと通って、八幡浜なり伊方に行って船を使うというルートを取り込もうかなと。そうすると山陽と関西が視野に入るんですね。本当は紀伊半島まで入れたいのだけど、ちょっとまだ道の整備ができてないので、だから、瀬戸内海の大橋を前提に、たぶん北九州回ってくるよりも早いですから、「この新たなルートの延長線上に大分があるぞ」みたいな、そんなイメージです。</p>
部会長	<p>そういう意味では、「魅力発信」の2つ目の「山・海などのロケーションをアピール」のところにもうちょっと「お食事がおいしい」みたいなものがあってもいいのでしょうか。</p>
委員	<p>都市基盤部会の中で、今出た「結ぶ」、「繋ぐ」という交通分野、あるいは周辺地域の議論は、今日この資料には出ていないのですが、実際に出てきたのですか。例えば、その中でお尋ねしたいのが、第2国土軸を見据えてこれからの9年間大分市として何をやっていくかとか、その中に東九州新幹線のようなものがいくつかあると思うのですが、そういったものについて中期のスパンを盛り込んでということは聞いているのですが。</p>
事務局	<p>素案には今回その記述を簡単ではあるのですが入れてあります。お手元にございましたら、ファイルの中に素案がありますので、100ページに広域交通ネットワークの強化というものがございまして。委員さんからの具体的な考えや意見は確認していませんが、ここにひし形で「東九州新幹線の整備実現に向けて、国や九州各県、関係機関などと連携して検討を進めます」とか、「豊予海峡や瀬戸内海などで本市と四国・関西方面を結ぶ第二国土軸構想の実現に向けて、国や九州各県、関係機関などと連携して検討を進めます」という部分で書き込みを今回新たに入れました。</p>
委員	<p>ここは大事なので。</p>
委員	<p>部会の中で出ているのではないの。言葉では出ていないのかな。</p>
事務局	<p>部会に確認してみたいと思います。</p>
部会長	<p>他にいかがでしょうか。</p>
委員	<p>今いろいろ考えたのですが、「市民主体のまちづくり」とか、大分の都市の広域圏とか言う中に、ほかの市町村と「連携」してとかあるのでしょうか、たぶんみんなで作り上げていくというか、みんなで創造していくような表現</p>

	<p>があっというのかと思います。言葉としては、当て字として使い古されていますが、共に創り上げる、共に創造する「共創」とかですね。「共創都市」みたいな感じの言葉とかですね。そこはどのような言葉を使うのかわからないですが、そういう言葉があってもいいかなと思います。</p>
部会長	<p>「安全」と「安心」が「地域」のところにもうちょっとあってもいいかなと思いますが。</p>
委員	<p>今の件で思い出しました。「安心・安全」、文言はどちらもそうでしょうが、僕はいつもおかしいと思うんですよ。「安全」があるから「安心」しているんな部分ができると思うのです。</p> <p>それからこれは余分なことだけど、「共助」じゃなくて、「近助」ですよ。私は「近助の力」、「近助力」と言っているんです。</p>
部会長	<p>私も「安全・安心」の語順だと思います。</p>
委員	<p>私どもも「安全」だから「安心」と認知しております。</p>
部会長	<p>そうすると、今日出たキーワードは、各部会で出たキーワードを一部変えるとすれば、「子どもが育てば地域が育つ」という言葉をやめ、使うときは気を付けるということと、「子ども」、「地域」があるけれど、「地域」の中にもうちょっと高齢者や福祉、安全・安心の部分があってもいいのではないかとこのところですかね。それから、「自主性」のところに「市民主体」や「連携」、共に創り上げる「共創」みたいなものがあるといいのではないかと、それから「自分たちが育つ」ということ。そして、「責任を持つ行政」。それから「魅力の創出」のところに、農林水産業と併せて「鉱工業」や「経済活性化」、「広域交通などのインフラ」を入れていく。それから「子どもを育てる」のか「子どもが育つ」のか。この辺の「みんなで育つ」ということとプラスグランド整備をするような、行政の責任と併せて何とかそこら辺の工夫をするということ。言葉として新しく出てきたのが、「結節点」、それはこの中にもありますが、「結ぶ」であるとか「つなぐ」というところがまちづくりで大事なんじゃないか、さらには6次産業、そして進出企業と地場企業を「つなぐ」。また、「交通結節点」。それから、次の一手を求める「創造」。そして「自己実現」。そういう意味では、「結節点」のところ、「結ぶ」というところ、重要なキーポイントにあるということを感じて、さらにそれを発展させるということと、それが次の一手の「創造」につながるでしょうということ。それから「ひと」のほうは、子どもも大事だし、大人も大事だし、福祉、高齢者も大事だし、自己実現しながらみんながいきいきと暮らせるような都市を目指しましょうというのがあって、今日いただいたご意見は、キーワードにすればそういったところでしょうか。</p> <p>では2番までの議論が終わりました。</p> <p>続きまして、議事（3）「その他」について事務局に説明を求めます。</p>

事務局	<p>それでは、「今後のスケジュール」について説明させていただきます。</p> <p>議事（１）で使用いたしました「大分市総合計画検討委員会業務の流れ」を再度ご覧ください。本日も議論いただきました、議事（２）の「めざすまちの姿（都市像）」に対するご意見を踏まえ、今後部会長と調整させていただく中で追記修正を加え、総務部会としての中間提言をまとめていきたいと考えております。その後各部会で作成した中間提言を、総合計画検討委員会委員長である北野大分大学学長や各部会の部会長、副部会長で構成されます部会代表者会議に１２月２日にはかりまして、その後検討委員会全体として中間提言を市長に手渡していただきます。</p> <p>市としましては、その中間提言を受け、先程もご説明させていただきました通り、総合計画や総合戦略の原案（つまり素案を修正したもの）を作成し、年明け１月から広く市民の皆さまに意見を聞くパブリックコメントを実施する予定です。</p> <p>この検討委員会としましては、そのパブリックコメントの結果を経て、最終提言をまとめていくこととしておりますが、この最終提言のベースはあくまで本日も議論いただきました中間提言でございますので、基本的には部会長にご一任いただければと考えております。ただ部会長と相談し作成する中で、皆様におはかりした方がよいようなケースが生じた場合は、文書等で委員の皆さまにおはかりし、調整することも検討してまいりたいと考えております。そののち、２月末をめどに全体会を開催し、全委員さんにお集まりいただく中で、最終提言を決定したいと思います。</p> <p>ここまでが大分市総合計画検討委員会として皆様方に審議いただくものになりますが、その後市では３月に人口ビジョン、総合戦略の完成、そして６月に総合計画の完成を予定しております。</p> <p>以上のような流れを予定しておりますことから、総務部会としては本日を一応の区切りとし、皆さまには来年２月末の全体会にご出席いただければと考えております。</p> <p>今後のスケジュールについては、以上でございます。</p>
部会長	<p>よろしいでしょうか。では事務局に返します。</p>
事務局	<p>議事進行していただきありがとうございました。</p> <p>本日の第５回をもって総務部会は一応の区切りとなります。</p> <p>委員の皆様には、８月の検討委員会発足以来、大変お忙しい中、５回にわたりご出席いただきまして、誠にありがとうございました。</p> <p>総合計画では具体的な事業や施策を検討するのではなく、新たな時代のまちづくりの方向性を明らかにすることを目的としておりますので、委員の皆様には議論していただく上でやりづらい点多々あったかと思っております。しかしながら、事務局としましては、各分野で活躍されている委員の皆さまに熱心な議論をいただく中で、それぞれの課題に基づいた大きな提言をいただけたと感じております。今後、当部会でいただきました提言を踏まえ、総合計画の策定に向け、鋭意取り組んでまいりたいと思っております。</p> <p>なお、部会長さんにつきましては、今後中間提言及び最終提言に向けた調</p>

	<p>整をお願いすることとなりますので、引き続きよろしく願いいたします。</p> <p>また、他の委員の皆様にも、来年2月下旬に予定されております検討委員会全体会にご出席いただきたいと思いますと考えております。正式なご案内の文書は詳しい日程が決まり次第、送付いたしますので、どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>これをもちまして、第5回総務部会を終了いたします。</p> <p>誠にありがとうございました。</p>
--	--